

か、売り上げはどのくらいなのか。そういった情報がない。そうなるミネラル野菜をやってみたいと思えない。

今の現役世代の人たちが引退したら後継者もない。農地が荒れてしまっただけじゃあ、誰か借りてくれる人を探そうということになっても果たして町の農業に魅力はあるのかという話になってしまふ。それを見出さないと人を呼び込めないうし農地も荒れていくばかりだと思えます。

人と人との つながりを大事に 草野遵さん

自分の会社もそうなんですが、仕事がなかなか休めない地域活動や集まりに出れない。そうすると人と人とのつながりが切れてしまうのではない

かと感じています。田舎は人と人とのつながりが大切。仕事だけしてはだめだと思えます。休みをとれる体制を作ることが必要だと思います。

インター周辺の開発については、そこに施設があつて人が集まればいろんなことができると思えます。地元の人だけじゃなく町外の人人も呼び込めて活性化できればいいと思えます。

個人的に考えていることとしてはスポーツだったら何か新しい取り組みをしてみるといいんじゃないかと思えます。体操とかそういう団体を作つて町がサ



草野遵さん

ポートをしてほしいです。小野町ではこういうスポーツもできるんだよというのをアピールできればいいと思えます。

SNSを活用した 情報発信を 先崎千穂さん

町の魅力を活かしたPR、町の自然を最大限に活かした場所、たとえばふれあいの森や運動公園などにアーティストを呼んで若者を呼び込める大きなイベントを開催してみるとか、まず小野町に一度足を運んでもらうためにはそういうのもいいのかなと思えます。

SNSなどネットの活用、写真の撮り方を工夫したものを掲載するとか、若い人が注目するような情報発信が必要かと思えます。町にあるリカちゃん

キャッスルは有名で、町外の人でもリカちゃんキャッスルに行つたことがあるという人はよく聞きますが、リカちゃんキャッスルだけ行つて帰つてしまふ。リカちゃんキャッスル以外の小野町の印象が残る何かがあればいいのかなと思えます。

企業としての農業を 吉田悦子さん

か 全ての農業は家で食つていただけとかでやっていたと思えますが、年配の人ができなくなつて、若い人がやり始めていくという話を聞くと、個人でやるよりも、企業として栽培から販売まで一連の流れでできればいいんじゃないかなと思えます。

小野町で取れた野菜はせっかく飲食店があるの



吉田悦子さん

で、帰省で帰ってきたひとや観光客に小野町にはこういう野菜があるんだよっていうことをPRできたらいいのかなと思えます。

若者の力が必要 遠藤光太郎さん

町の活気作りには若者が活躍してくれることが必要だと思えます。若者が興味を持つ分野、ITとかネット販売とかに特化した創業支援はどうか